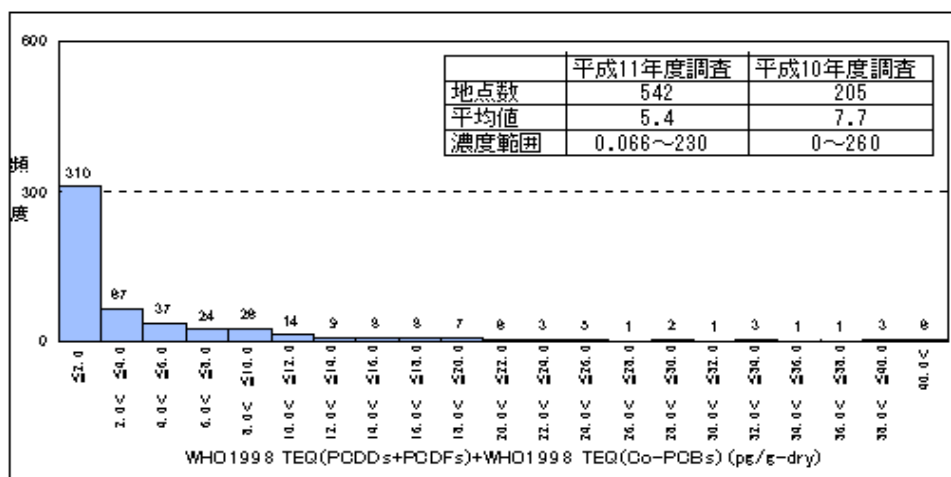


(参考)平成11年度公共用水域における底質及び水生生物のダイオキシン類濃度調査結果

公共用水域底質

底質については、全国542地点で調査を実施した。

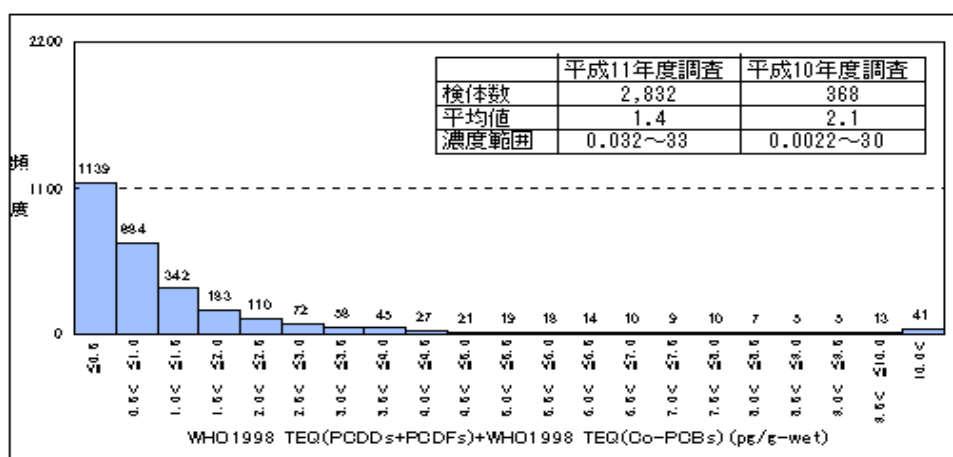
ダイオキシン類濃度の平均値は5.4pg-TEQ/gで、平成10年度調査結果(平均7.7pg-TEQ/g)より低く、濃度範囲は0.066~230pg-TEQ/gで、平成10年度調査結果(0~260pg-TEQ/g)の範囲内であった。



水生生物

水生生物については、全国543地点2,832検体で調査を実施した。

ダイオキシン類濃度の平均値は1.4pg-TEQ/gで、平成10年度調査結果(平均2.1pg-TEQ/g)より低く、濃度範囲は0.032~33pg-TEQ/gで、平成10年度調査結果(0.0022~30pg-TEQ/g)とほぼ同程度であった。



(出典)平成11年度公共用水域等のダイオキシン類調査結果について
(平成12年8月25日環境省発表)